

# 「令和4年度 根室管内教育推進 の重点」に係る取組事例（後期）

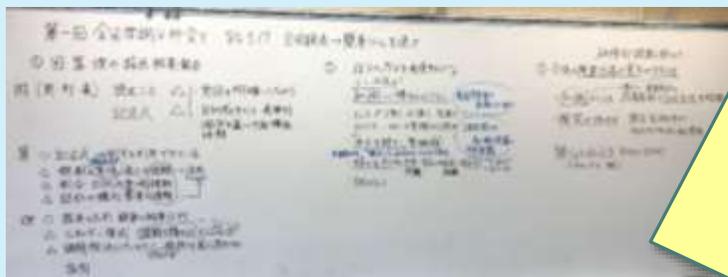
北海道教育庁根室教育局



根室教育局新型コロナウイルス感染症拡大予防  
キャンペーンキャラクター「ムロビエ」

# 【重点1-①】 学力分析会議を活用した検証改善サイクル確立 別海町立別海中央小学校の取組

【第1回学力分析会議の板書】



【第2回学力分析会議の様子】



## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○学力に課題を明確にし、課題解決を図る改善サイクルの確立に全職員で参画する。

### 【取組のポイント】

○全国学調自校採点結果からわかる課題と今後の授業改善の重点と方向性を探った。(第1回学力分析会議)

○全国学調質問紙結果と標準学調結果からわかる全校的な傾向、課題、昨年度データとの比較による成果や課題を共有した。(第2回学力分析会議)

○授業改善後の「子どもの姿」の変容を学期末チャレンジテストの結果で見取り、次のサイクルを回した。

### 【これまでの取組の成果】

○全職員で分析結果や課題や授業改善の重点、方向性を会議を通して理解、共有することで、学校課題解決に向けた参画意識が高まっている。



# 【重点1-①】調査結果を踏まえた学校改善 根室市立光洋中学校の取組

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

- 生徒による授業評価アンケート「フリカエル」の分析結果を踏まえた学校改善の推進を図る

### 【取組のポイント】

- 子どもを主語とした授業づくりを図る。
  - ①チーム教科で生徒アンケートの分析と授業改善  
日常的な教科連携による授業づくり、授業準備の共有化
  - ②ピア・サポートを活用した日常的な実践  
生徒・保護者との信頼関係づくり
- 働き方改革推進コアチームによる取組を推進する。
  - ①校務運営員会を中心とした教育課程の見直し編成  
「ムリ」「ムラ」「ムダ」をなくし、目標・目的の明確化を図る
  - ②光洋中プロジェクトを活用した地域学習

### 【これまでの取組の成果】

- 自分の担当学年・担当クラスだけではなく、生徒全体の様子を交流し、学校の課題を明確にすることができた。
- 課題解決を図るため、目標や目的を再度見直し、学校行事を含めて教科等横断的な教育課程の編成に向けて改善を図った。



【生徒の姿で授業分析をする風景】



# 【重点1-①】 全国学調を活用した授業改善 中標津町立中標津中学校の取組

	本校	北海道	全国	
国語	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.9	72.1	72.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	58.1	44.5	46.5
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	66.0	69.3	70.2
	A 話すこと・聞くこと	59.4	63.5	63.9
	B 書くこと	58.1	44.5	46.5
	C 読むこと	69.0	67.3	67.9
数学	A 数と式	55.0	52.0	57.4
	B 図形	43.9	43.0	43.6
	C 関数	49.2	42.3	43.6
	D データの活用	53.3	56.5	57.1
理科	「エネルギー」を柱とする領域	41.9	41.9	41.9
	「粒子」を柱とする領域	52.3	51.2	50.9
	「生命」を柱とする領域	59.3	56.8	57.9
	「地球」を柱とする領域	42.8	43.6	44.3

【令和4年度の全国学調の結果】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○全国学力学習状況調査結果から、本校の成果と課題を分析し、授業改善につなげる。

### 【取組のポイント】

○各教科の課題から共通点を見出し、全教科で取り組める授業改善の方策を打ち出した。  
○方策を研究主題に取り入れ、全学年で取り組んだ。  
○全教職員が授業を公開し、研修を行った。

### 【これまでの取組の成果】

○これまで低かった「書くこと」のポイントが全国平均を大きく上回ることができた。  
○全教科で取り組むことで他教科の成績も向上した。



# 【重点1-②】 地域人材を生かした教育活動の展開 中標津町立丸山小学校の取組



【中標津商工会青年部による  
ベンチャーキッズチャレンジ】

【阿知波牧場での  
牧場見学】



【みどり川 川探検】



【eフォトクラブによる  
写真撮影学習】



【JA中標津青年部との  
農園活動】



【知床太鼓による  
太鼓指導】



【学芸員・NPO法人景観ネットワークによる  
景観学習】



【Loopによる発電教室】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○地域の人材を活用しながら体験活動を通して、「人間性をはぐくむ」「学びに向かう力」の育成を目指すとともに、ふるさと中標津に誇りをもつ人材を育成する。

### 【取組のポイント】

○体験活動と各教科・行事等が関連付けられてた年間プログラムを作成し、意図的・計画的に教育活動を展開する。  
○日常的に「子ども主体の授業」を行い、子どもが疑問に思ったこと・追究したいことを解決しようとする力を育てる。  
○教師側で明確なねらいをもって子どもを見守り、子ども自身の課題追究に立ち返らせながら指導する。

### 【これまでの取組の成果】

○子ども自らが五感を使って体験していくことで、より学習に向かおうとする姿が見られるようになったとともに、一人ひとりが自信をもって活動する様子が多くみられるようになった。

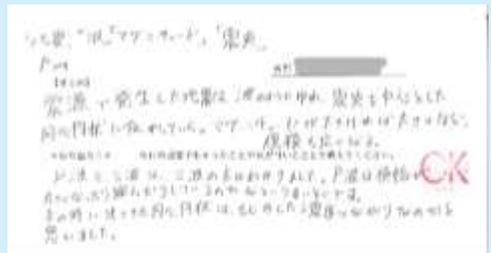


# 【重点1-②】「自立した学び」をねらいとした授業工夫改善の組織的な取組 別海町立野付中学校



## 学習計画

- ① 靴の計画 課題づくり
- ② 東海の産業
- ③ 中央高地の産業
- ④ 北陸の産業
- ⑤ 探究課題深堀り
- ⑥ 単元のためテスト



## ＜概要＞

### 【取組の目的・ねらい】

子どもたちが目標達成に向けて主体的に学びを進める授業づくり

### 【取組のポイント】

- 生徒が解決意識を持つような課題提示をし、単元の学習計画を合意形成することで、活動時間を確保し、より主体性のある学びとした。
- 目標達成に向けて学習する形態・場所・時間配分・ペースなど生徒自らが計画を立て、学びを進める「マイプラン学習」を実践した。
- ICTの特性と強みを生かし、時間と空間の制約を超えた、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて実践を重ね、授業力の向上を組織的図った。
- 課題と正対した「質の高いまとめと振り返り」を継続して行い、学びをつなぎ活用することで、主体的に思考し、探求する姿勢を醸成した。

### 【これまでの取組の成果】

- 子どもたちの自ら『学ぶ』意欲が向上し、探求する姿勢が身についた。
- 子どもたちが自分たちにあった学び方と環境づくりについて考えられるようになった。



# 【重点1-②】 視点を明確にした授業参観週間の実施 別海町立別海中央中学校の取組

研究テーマ：協働することで、学びを深める生徒の育成。  
4年度の主題「学習改善につながる評価の工夫を通して」。

項目	内容	評価
導入	課題、 探究心を高める課題となっているか、 学びを深める発問ができていないか。	A B C D、 A B C D、
	自由記述、 、 、	
展開	自己決定、 自己解決の時間を確保しているか、 自分の考えをもたせるための手立ては有効か。	A B C D、 A B C D、
	人間関係、 ペア・グループ学習の形態は有効であったか、 協働を通じて自分の考えを深める手立てがあったか。	A B C D、 A B C D、
	自己存在感、 自分の考えを表現する場が設定されているか、 自分の考えを表現する手立ては有効であったか。	A B C D、 A B C D、
	自由記述、 、 、	
終末	まとめ、 課題に呼応したまとめになっているか。	A B C D、
	振り返り・評価、 自己評価の機会が設定されているか、 相互評価の機会が設定されているか、 教師の評価の工夫がみられるか。	A B C D、 A B C D、 A B C D、
	自由記述、 、 、	
その他	「授業規律」「教室環境」「板書」「その他」で気づいたことを書いてください。、 、	

【授業改善チェックシート】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○職員相互の授業参観における視点を明確にすることで、建設的で効果的な研修を行いました。

### 【取組のポイント】

○学期に1度、視点を明確にした「授業改善チェックシート」を活用し、全教職員が授業参観を行いました。  
○学校課題として重点項目である振り返りや評価について共有し、相互評価を行えるよう取り組みました。

### 【これまでの取組の成果】

○1単位時間で生徒が何がわかるようになることとよいかが明確にされている授業が多くなり、学習に向かう姿勢が向上しました。  
○1単位時間の導入、展開、終末において、評価項目と内容を共有したことにより、全教職員で授業改善のベクトルを揃えることができました。



# 【重点1-②】自由進度学習を通じた学びを調整する力の育成

## 標津町立川北小学校



【どの学びもプランシートでねらいや計画を確認・調整】



【必要に応じて本やタブレットを活用し情報収集】



【わからないところは仲間と相談しながら解決】



【自分のペースで一人学び】



【早く終わった子は先生役になることも】



【教師は子ども達の様子をみて支援】

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○子ども達一人ひとりが自らの学びと向き合い、計画を立てて改善する学びを通して、願いや狙いに向けて自己調整しながら取り組む力を育む。

#### 【取組のポイント】

○学びの見通しを子ども達もてるよう、単元の導入であらかじめ単元計画を子ども達と共有。

○子ども達にとって学びやすいペース・環境(ICT等の活用)・方法(一人で・仲間と協働的に・先生と)で進められるよう教師は学習環境を整備。

○子ども達が安心して学びを進めることができるよう、教師は学びを進めている子どもの様子を観察し、つまづいている子どもを支援したり、仲間とつなげたりとファシリテートする。

○教育活動全体がそれぞれつながり、深めることができるように、教科の学びだけではなく、行事の取組や長期休業中の計画などのフォーマットの統一化を図った。

#### 【これまでの取組の成果】

○学級活動や自主学習など、教科の学び以外の取組でも、子ども達は計画的に調整しながら自主的に取り組むようになった。



# 【重点1-②、3-①】 テーマ 授業改善の推進と小中高の連携 北海道根室高等学校の取組



【「じゅぎょチェン！」(授業改善事業)】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○教員一人一人の授業における課題を明確化し、その改善を図る。

### 【取組のポイント】

- ①校内の教員同士で授業公開&参観し合う。
- ②生徒に「ためになる」「面白い」授業をアンケート⇒教員へフィードバック。
- ③②の授業を校内外へ公開。より良い授業作りへ活かしていく。

### 【これまでの取組の成果】

- 教員個々人の授業の「強み」「改善点」の把握。
- 市内小中学校からの授業参観による、学校間交流。



# 【重点1-③】 よりよい人間関係づくり 根室市立柏陵中学校の取組



【学校行事での縦割り活動】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

- 生徒の居場所づくりや自己有用感を高める場面を設定する。  
(中1ギャップ解消プランの実施)

### 【取組のポイント】

- 年2回(7・12月)子ども支援ツール「ほっと」を実施し、分析結果から個人・集団としての実態を全教職員で把握し、日頃の生徒観察や指導・対応・生徒が主体的に活躍できる場面づくりに役立てる。
- コミュニケーションスキルの向上に向けて、特別活動や教科を通して縦割り活動や主体的・対話的な活動を取り入れる。活動場面では学年や男女等問わず関わりを持つ機会とし、人間関係の構築や自己有用感の向上を図る。

### 【これまでの取組の成果】

- 「ほっと」の結果からは「良好な関係づくり」や「周囲を判断する力」の向上が成果としてみられた。生徒会主催の全校レクが実施されるなど、さまざまな集団活動に意欲的に取り組むことができた。



# 【重点1-③】児童生徒が安心して学べる支持的な人間関係の育成 別海町立中春別中学校の取組

質問項目		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
自分には、よいところがあると思う	本校	30.0	60.0	10.0	0.0
	全国	36.0	42.5	14.9	6.6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	本校	60.0	40.0	0.0	0.0
	全国	39.9	46.7	9.9	3.4

【R4年度全国学力・学習状況調査(生徒質問紙)より】

本 日	6月9日	行事 予定	今日の授業	出席	欠席 理由
教科	持ち物・整理など	提出物・連絡	ひとこと日記	どうどう明日は...	
1 理	テスト勉強でよろしい	制服!		もう何も考えたくないです。	
2 社				早く終わってゆっくりしたい	
3 音				です!なるべく全部空気を	
4 英		家庭学習		知られるようにみんなは?	
5 国	テスト勉強でよろしい				
6 給	制服!				

【やりとり帳(発行:地域教材社)】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○一人一人の生徒が、『学校が自分の居場所』と感じられるために、子ども同士が互いに認め合える環境を構築するとともに、生徒と先生の支持的な人間関係を育成する。

### 【取組のポイント】

- 生徒指導の3機能(自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する)を生かした授業を実践する。
- 生徒と先生をつなぐ「やりとり帳」を活用し、励みとなるコメントを記載したり学習面でのアドバイスを行う。

### 【これまでの取組の成果】

○生徒指導の3機能を生かした授業実践と生徒理解の手段として「やりとり帳」を活用したことにより、生徒が安心して学ぶために必要な支持的な人間関係を築くことができた。また、生徒の自己肯定感の向上にも効果的であったと考える。



# 【重点2-①】 教員育成システムの構築 根室市立成央小学校の取組



【日常的な授業研究】



【夕打ちを使っの事例研修】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○メンターが中心となって日常的な実践や研修を運営し初任段階教員とともに成長する仕組み作りをする。

### 【取組のポイント】

- 学年やブロックのメンターが、打ち合わせ等で様々な指導について考え、具体的な方策を立て実践する。
- 学校経営方針と日々の実践を結びつけた評価・改善を話し合う。
- 初任段階教員の困り感にスピード感をもって対応する。  
(専任を業務に位置づけ)

### 【これまでの取組の成果】

○ミドルの先生の仕事に対する意識が高まり、初任段階の先生方が仕事に対して気概を示している。



# 【重点②-①】 初任者の専門教科指導能力育成 別海町立中西別中学校の取組



【研修授業後の協議風景】

## ＜概要＞

### 【取組の目的・ねらい】

○本校は各教科1名配置が殆どで、初任者が着任した際の、専門教科の先輩教員から指導を受けることが必要であることから実施した。

### 【取組のポイント】

○他校のミドルリーダーの授業を参観し学習する機会を、関係校で調整して実施。

○年間複数回実施する中で、初任者が授業する機会を設け、ミドルリーダーから指導・助言をいただく。

### 【これまでの取組の成果】

○学校間を越えることで、初任者が専門教科のミドルリーダーとの関係を構築し、教科指導の内容等で困ったときに相談することができるようになった。

校内初任段階研修（1年次）年間予定	
4月	他教科指導見学
5月	体育行事企画立案 町初任者研修
6月	生徒指導研修 他校体育科授業見学
7月	校内授業相互参観 局初任者研修
8月	教科・教材研究
9月	小学校との連携
10月	学校祭を生かした生徒理解 体育科教諭来校による指導・助言
11月	校内研修 他校公開研参加

【初任者校内研修年間予定 一部抜粋】



# 【重点2-②】 組織的な研修の改善・充実 中標津町立中標津小学校の取組

## 【副主題】

「わかる喜び・学ぶ楽しさ」を  
実感できる授業づくりを通して

【改善前】

より具体的に、何に焦  
点を当てて取り組むの  
かを明確にする。

## 【副主題】

国語科、算数科における、育  
成する資質・能力を明確にし  
た指導計画の作成を通して

【改善後】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○校内研修を振り返り、より一貫・徹底・継続した、組  
織的な研修を目指す。

### 【取組のポイント】

- 研修部が4月に提案し、全校で取り組んできた内容  
について振り返る。(夏季休業期間中)
- 全体構造図(主題・副主題・仮説等)について改善  
点を話し合い、共有する。(夏季休業期間中)
- 研修計画を改善し、全校で取り組む。(8月～)

### 【これまでの取組の成果】

○研修内容が焦点化されたことにより、全校で一貫・  
徹底して取り組むことができた。



# 【重点2-②】 実践的指導力向上の研修 標津町立標津小学校の取組



【日頃の課題等について語り合うしべトーク】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○学期末に見えた課題や日頃抱えている課題や悩みを出し合い、お互いの実践を交流し合って、課題解決を図る。

### 【取組のポイント】

- 若手教員が積極的に気軽に日頃の悩みを打ち明ける。
- 悩みや課題に対して、ミドルリーダーやベテラン教員が具体策や解決の糸口となる自分の実践例を伝える。
- 各グループで話し合ったことを交流し、研修通信で全職員で共有する。

### 【これまでの取組の成果】

○具体的な実践例を交流したことにより、若手教員に実践するイメージをもたせることができた。



# 【重点3-①】 テーマ

## 根室市立落石中学校の取組

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○各発達段階に応じた社会性を身につけさせるための方策を共通理解する。

#### 【取組のポイント】

○校種毎に学年修了時に目指す子どもの姿(社会で生きる力)をまとめ、全体で交流する。  
○保小中のつながりを意識した具体的な取組と成果や課題を出し合い、落石地区の子どもたちを校種関係なく全員で育てる視点を持つ。

#### 【これまでの取組の成果】

○全員で共通理解したことで、校種の繋がりを意識しながら統一性のある目標を立てることができた。



【保小中連携推進研修会の様子】



# 【重点3-①】 中1ギャップをなだらかにする小中連携の推進 標津町立川北中学校の取組

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○小中間の連携を進めることで、児童生徒理解、学校理解を深め、『中1ギャップ』の解消に努める。

### 【取組のポイント】

○こども園、小学校、中学校の教員によるコラボレーションによる授業づくり。(園小中連携協議会の計画)

○生徒会、児童会執行部による「連携活動」実施に向けた話し合いの場の設定。

○小学校へへの出前授業による「中学校の授業への慣らし」と、中学校教員との関係づくり、児童の観察。

### 【これまでの取組の成果】

○生徒会、児童会のコラボレーションが2学期末に「合同の朝の挨拶運動」という形で結実した。

○コラボレーション授業等により、園小中の教員間のコミュニケーションの頻度が増え、相互理解が進んだ。



【合同の朝の挨拶運動／写真は  
小学校の玄関】



# 【重点3-②】 規則正しい生活・学習習慣の環境づくりに向けた家庭との協働体制の確立

## 別海町立西春別小学校の取組

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○子どもが、自ら家庭での生活リズムを考え、学習習慣の定着及び安定した生活習慣の確立を目指す。

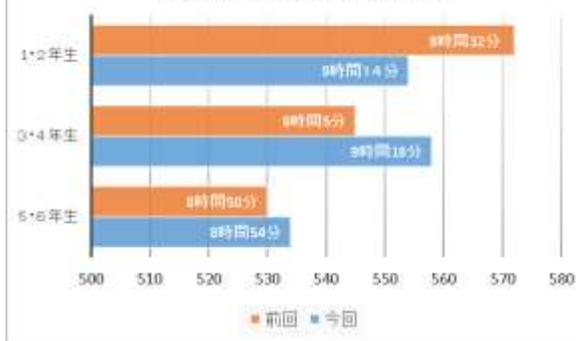
#### 【取組のポイント】

- 前後期で年2回、「メディアコントロール・ウィーク」や「すいみん日記」の取組による生活リズムの自己診断を行う。
- 自己診断結果に基づき、自己分析を行い、家庭からの要望を踏まえた担任からの指導・助言のもと、自己目標を設定し、家庭との連携を図り生活リズムの改善に努める。
- 前期と後期での結果をもとに、自己の変容を振り返り、安定した生活・学習習慣の確立に生かす。

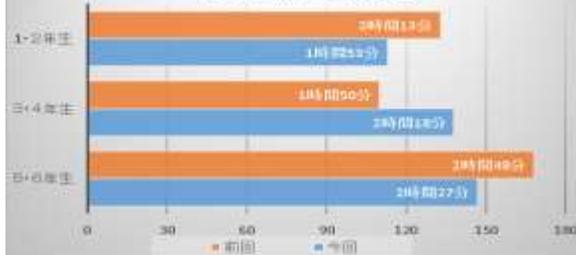
#### 【これまでの取組の成果】

○タブレットの持ち帰りによる家庭でのメディア時間の増加に対する指導・改善を家庭と連携を図りながら実施できた。

学年平均睡眠時間(平日)



平均メディア時間



【R4.すいみん日記集計結果】



【重点3-②】発達や系統性・発展を踏まえた幼小中高の連携や一貫教育の確立

## 北海道羅臼高等学校

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○一貫教育を行っている羅臼町立知床未来中学生と北海道羅臼高等学校生による異学年交流を通して協調性を育成する。

#### 【取組のポイント】

- 異学年が合同で打楽器を演奏する参加型ワークショップ「ドラムサークル体験交流会」の実施
- 事前に高校生がワークショップの指導方法を学び、中学生を招いた際にリーダーシップを発揮
- 中学生が高校での授業体験を通して、高校の特色を理解

#### 【これまでの取組の成果】

○ユネスコスクール合同発表会、一貫教育授業研修会、部活動支援の実施



【ドラムサークル体験交流会】



# 【重点3-③】 地域で全校防災教室 根室市立海星小中学校の取組



テント・段ボールベッドの設営



非常食の試食提供



簡易トイレの実演

## <概要>

【取組の目的・ねらい】市防災課、消防、地域住民と連携しながら、  
○自然災害に対して危険を予測し自らの命を守り抜くために判断したり行動したりする資質能力を身につける。  
○安全で安心な社会づくりのために貢献しようという意欲をもち、判断したり行動したりする資質能力を身につける。

【取組のポイント】 ※中学2年生徒が運営担当  
○3年間で3内容を学習 ①根室で起こりうる災害 ②避難所運営(今年度実施) ③危険予測と応急処置法  
○避難所運営ゲーム『Do!はぐ』を通して避難所運営の課題を見だし、実際の避難所運営において課題解決を図る。  
○全校児童生徒、地域住民を避難所に招待し、避難所についての説明や実演を行う。

【これまでの取組の成果】  
○避難所運営を通して、避難者としての視点だけでなく、支援者という視点で考えることができ、防災に対する当事者意識を高めることができた。



## 【重点3-③】 地域の教育資源を活用した教育活動の推進

# 根室市立花咲港小学校の取組



【1・3・4年生花壇整備】



【1・3・4年生交通安全呼びかけ】



【5・6年生交通安全看板作成取付】



【全学年独居老人宛年賀状作成】

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○地域の教育資源を活用することで、地域に根ざした魅力ある学校作りを行う。(駐在所との連携)

#### 【取組のポイント】

○活動することの意義が何であることを明確にし、目的意識をしっかりともたせて活動に取り組ませる。

○活動内容に系統性をもたせ、学年の発達段階に応じた指導ができるようにする。

○子供の自由な発想が活かされるようにする。

#### 【これまでの取組の成果】

○駐在所の方々と数多く交流することで、交通や地域の安全を守る事へかかわる意識が向上した。



# 【重点3-③】 ふるさと学習をオンラインで交流 別海町立野付小学校の取組

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○友好都市とオンライン交流し、地域の教育資源を活用した子ども主体の探究学習「野付学」を実現する。

### 【取組のポイント】

○総合的な学習「野付学」の学びを発信型の探究学習に再構成することにより、ふるさとの魅力を再発見する。  
○タブレットを効果的に活用し個の学びと協働的な学びを一体的に充実することにより、子ども主体のマイプラン型探究学習を推進する。

### 【これまでの取組の成果】

○タブレットが、子ども同士、学校と家庭、地域をつなぐ学びのツールになって、地学協働の共同学習が実現した。



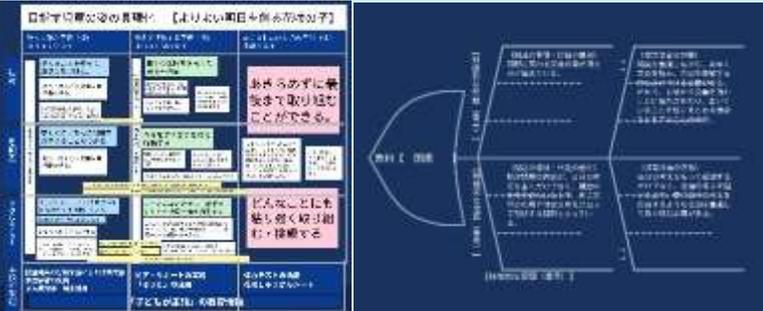
【枚方市東香里小とオンライン学習交流】



# 【共通重点事項】ICT機器の効果的な活用 根室市立花咲小学校の取組

教科名 算 数	P 106~108 (F) ( 1 / 9 )	単元名 直方体と立方体
指導事項	B (2) ア (ア)	
目標	直方体と立方体の違いを理解できる。	
活動	立方体の仲間分けクイズ	
見方・考え方	それぞれの面の持ちように着目	
評 価	直方体と立方体の違いを面の持ちようをもとに説明できる。(観察・ロイロノート)	
ICT	収集・共有・蓄積・ツール・表現・整理	

## 【①教育活動の改善・充実】



## 【②日常業務の改善・充実】

### <概要>

#### 【取組の目的・ねらい】

○ICT機器の活用による教育活動、日常業務の改善・充実を図る。

#### 【取組のポイント】

- 授業づくりを行う際には、ICT機器の活用意図を事前に明確にすることで、ICT機器を活用すること自体が目的にならないようにした。
- 校内研修等の日常業務でも、教職員自身が積極的にICT機器を意図をもって活用するように努めた。

#### 【これまでの取組の成果】

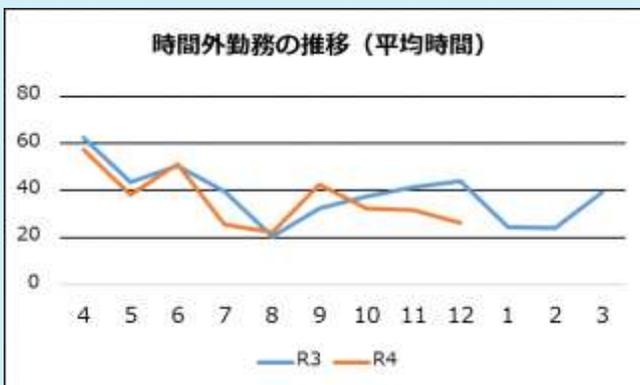
○教育活動、日常業務の両方で、ICT機器を有効的に活用できるようになってきた。



# 【共通】ICTの利活用による働き方改革の推進 羅臼町立知床未来中学校の取組



【情報を一元化するインフォメーションエリア】



【時間外勤務の推移】

## ＜概要＞

### 【取組の目的・ねらい】

○校務支援システムを活用するとともに、職員室の一角にインフォメーションエリアを設置することで、校内の情報を一元化し、業務の効率化を図る。

### 【取組のポイント】

○校務支援システムは、業務を分掌ごとに色分けし、一週間の予定が一覧で分かるように表示する。  
○職員会議は、ペーパーレス化するとともに、原則として協議は行わず、報告・確認事項のみとする。

### 【これまでの取組の成果】

○全体として、時間外の勤務時間に減少傾向が見られ、その分、授業改善に時間を割くことができている。



# 【共通重点事項】 全教職員による働き方改革を通じた業務改善、学 校改善の推進 羅臼町立羅臼小学校の取組



【働き方改革キックオフミーティング】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○教育水準を落とさず、労働の質を高めるため、本当に必要な仕事を残し、教育効果の薄い仕事を削除する。

### 【取組のポイント】

○働き方改革の真の目的を職員に伝え、実行する。

[教職員の健康増進⇒仕事の効率アップ・職員の笑顔アップ⇒児童への教育の質のアップ]

○管理職のトップダウンから職員のボトムアップを意識した働き方改革の実施[キックオフミーティング開催・帰宅時刻の自己目標設定・個人面談・月毎の超勤時間の可視化など]

○働き方改革に必要な具体策を短期・中期・長期目標に分け、すぐにできること(短期目標)は、まず実施。

### 【これまでの取組の成果】

○R3(11月)超勤平均時間54.2時間⇒R4(11月)36.3時間  
[全職員超勤月平均時間-17.9時間を達成]

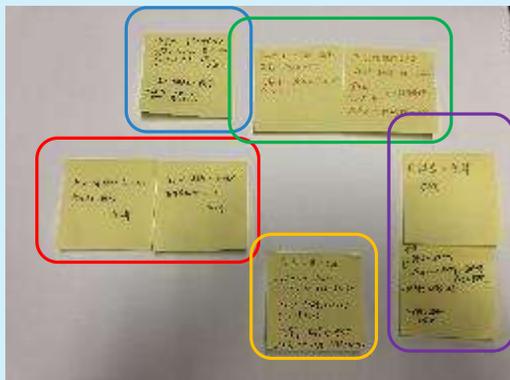
羅臼小働き方改革実施検証  
(R5 6月職員会議資料より)

#### 3.具体策実施状況

- (1)日課表の改定⇒○
- (2)教材費・給食費の振り込み全面化⇒△
- (3)分掌の人数配分見直し⇒○
- (4)キックオフミーティング開催⇒○
- (5)親睦会集金業務廃止(イベント毎集金)⇒△
- (6)配布物の紙配布の削減(メールの活用)⇒△  
……など具体策を定期的に検証



# 【共通重点事項】 全教職員による働き方改革を通じた業務改善・ 学校改善の推進 別海町立別海中央小学校の取組



【コアチームでアイデアを出し合い分析】



【全職員で教育課程の見直し】

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

○既存の組織「校務運営委員会」を活用したコアチームで働き方改革を推進する。

### 【取組のポイント】

○「ROAD」を参考に、各分掌、各学年、その他どの立場からでも、業務内容、取り組み方、課題意識をもっている事柄について、広く意見・アイデアを集めチームで分析する。

○分析した結果、「すぐに改善可能」な事項から各担当分掌、担当で改善案作成、実施。

### 【これまでの取組の成果】

○日課表の工夫で学年打ち合わせ時間の充実が図られている。

○各種保護者アンケートをWEBで実施。集計等の業務効率化が図られている。

○行事（運動会・体育発表会・家庭訪問・学習発表会等）の目標再確認と内容、取り組み方法の精査、教育課程の見直しを効果的な実施が図られている。



# 【共通重点事項】全職員による働き方改革を通じた業務改善 標津町立標津中学校の取組

## <概要>

### 【取組の目的・ねらい】

- ICT機器の有効活用による公開研究会の負担軽減。
- 対面とクラウドのハイブリッドによる研究協議の充実。

### 【取組のポイント】

- 研究紀要・指導案のデータを事前配布。参加者は個人端末に保存して持参。(研究紀要等の帳合作業なし)
- クラウドの授業チェックシートへ意見集約。一覧を大型モニターに示しながら協議を深める。(協議記録軽減)
- 事後アンケートを端末へ入力。(打ち直し作業なし)

### 【これまでの取組の成果】

- 準備・まとめ作業が大幅に軽減し、子どもと向き合いながら授業実践にエネルギーを注ぐ時間が増加。



【QRコードにあふれるペーパーレス研究会】

